

# 『多文化共生の担い手の連携促進研修～外国人向けの相談体制の強化～』 について

## 1 事業の目的等

在留外国人が増加傾向にある中で、多文化共生の推進に向けて、地域における多文化共生マネージャー(以下「タブマネ」という)(※1)など多文化共生の専門知識を備えた人材をはじめとした多文化共生関係者(以下「担い手」という)(※2)の連携・協働が求められているところである。

また、クリアが新たに認定したタブマネのモチベーション向上や、担い手の実践能力習得などスキルアップに向けた支援も必要である。

以上を踏まえ、地域レベル及び全国レベルで担い手のつながり(ネットワーク構築・強化)やスキルアップの場を提供することとし、オンライン会議システム(Zoom)及び現地(※3)において、令和5年度に新たに認定したタブマネの紹介、テーマに関する講義、事例の紹介とそれに関する意見交換を含む研修会を実施することで、担い手の連携を促進し、多文化共生の取組を醸成する。

(※1) 地域における多文化共生を推進する専門知識を備えた人材としてクリアが認定している。

(※2) 多文化共生に係る専門知識を備えた人材、自治体、地域国際化協会、市区町村国際交流協会、NPOなど民間組織等

(※3) 研修を2部構成とし、第1部をオンライン開催、第2部を現地開催とする。

## 2 事業実施主体など

<主 催> 自治体国際化協会多文化共生課、市民国際プラザ

## 3 事業の実施イメージ

### (1) 実施時期

第1部：2023年10月16日(月) (ウェビナー形式) (決定)

第2部：2023年12月(集合形式、福岡県北九州市で開催) (予定)

※タブマネの認定が終了するのが10月予定であるため、その日以降の開催とする。

## (2) 対象者

以下、**(第1部) 400名、(第2部) 40名程度**を想定。

- ① 相談窓口が設置されていない自治体の職員（初任者）
- ② タブマネ（令和5年度新規認定者含む）
- ③ タブマネ以外の多文化共生の専門知識を備えた人材  
（学識経験者をはじめ一般社団法人多文化社会専門職機構が育成する多文化社会コーディネーターや東  
京都が育成する多文化共生コーディネーターのような人材等を想定）
- ④ 他の自治体の職員
- ⑤ 地域国際化協会・市区町村国際交流協会の職員
- ⑥ 外国人窓口の相談員
- ⑦ NPOなどの民間団体の職員
- ⑧ 外国人コミュニティなどのコミュニティ・ボランティアなど

## (3) 実施会場

第1部：オンライン会議システム（Zoom）ウェビナーを使用して開催

第2部：西日本（福岡県北九州市）での現地開催

## (4) 実施内容

- 令和5年度のテーマは、「**外国人向けの相談体制の強化**」とする。
- (第1部) プラザ主催の講義で、学びの場として実施する。  
(第2部) クレア主催の研修で、意見交換の場として実施する。
- 業務都合等で研修に（現地）参加できなかった人のために、第1部、第2部とも研修終了後にHPで資料を掲載。また登壇者の許可が取れば、録画による後日配信を検討する。
- 具体的にはタイムスケジュール（案）のとおり。

タイムスケジュール（案）

【第1部 ウェビナー】

時間	内 容	対 応
<b>第 1 部</b>		
13:30	開会	クリア
	研修の説明	クリア、プラザ
	アンケート結果の発表	クリア
	基調講演 (在留資格、一元的相談窓口等について)	出入国在留管理庁 在留支援課
	質疑応答	
	休憩	
	事例発表①	兵庫県
	質疑応答	
	事例発表②	浜松市
	質疑応答	
	事例発表③	小山市
	質疑応答	
	事務連絡	クリア、プラザ
16:00	閉 会	クリア、プラザ